ふれあいネットワーク

こんにちは！社協です!!

2014
7月
No.109

特集 P2
あなたの会費が社協を支えます

ひ孫といっしょ
シリーズ108

山崎町 矢原

中尾（なかお） キミエさん(88歳)
○観可子（みかこ）ちゃん(5歳)
○冴子（さえこ）ちゃん(4歳)
○耀司（ようじ）くん(11ヶ月)
中尾（なかお） 彰一（しょういち）さん・貴子（たかこ）さん
■長女・二女・長男

「ひ孫といっしょ」のコーナーに登場していただけるモデルさんを募集いたします。宍粟市内にお住まいで同居されていることが条件です。宍粟市社協本部・支部へお申し込みください。

あなたの会費が社協を支えます

平成26年度社協会費のお願い

社会福祉協議会（以下：社協）は、社会福祉法に規定された民間の福祉団体です。すべての都道府県と市区町村に設置されており、「だれもが住みなれたまちで安心して生活できる福祉のまちづくり」を進めています。

波賀北部域で6つの自治会をまたいだ出前型介護予防事業
（第6ブロックの集い）

ご協力お願いします
1世帯1,000円

地域の中で新たなつながりを

「無縁社会」という言葉に象徴されるように、家族や地域におけるつながりの希薄化などにより、社会的に孤立する人が増えています。

宍粟市社協では、小地域福祉活動や当事者支援、新しい福祉サービスの開発などをおこないながら、地域での新しいつながりのカタチをつくる取り組みを進めています。

介護や子育て、生活困窮やひきこもりなど個々の課題を見逃さず、地域全体で支える仕組みづくりや地域のつながりづくりを進めることが今、とても大切になっています。その役割を担うのが社協です。

会費で社協を支えてください

社協は住民の皆さんを会員として運営しています。毎年8月に、一世帯当たり千円の会費の納入をお願いしています。

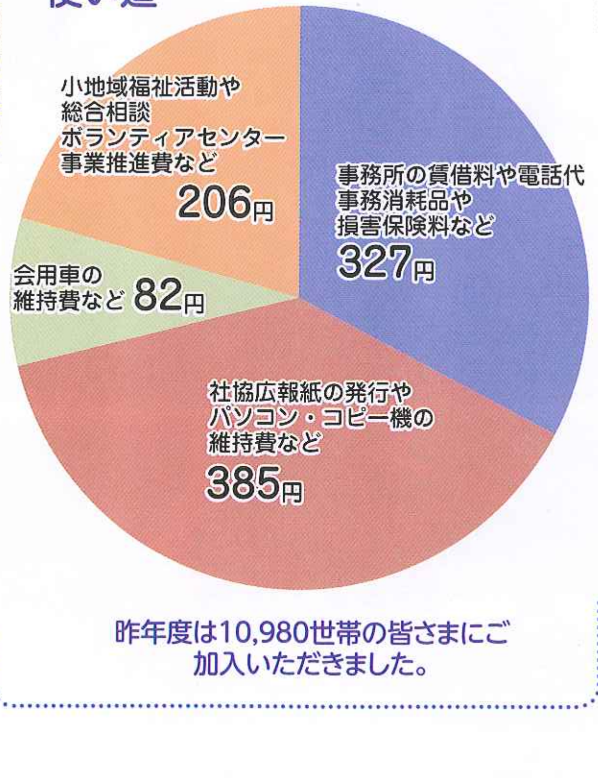
会費は、社協本体を支えるための財源として、社協事務局の「運営費」および「活動費」に活用しています。

会費を納入いただくことは、社協を応援していただき、地域福祉活動に参加いただくという意味合いがあります。

社協会費の納入は任意です。前年度の会員名簿をもとに、今年度の加入の意向をお聞きする形で自治会長さんのご協力を得て会費を集めさせていただきます。

皆様には大変ご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

社協会費1,000円の使い道



昨年度は10,980世帯の皆さまにご加入いただきました。

第1期モデル地区指定事業が終了

地域をつなぐ福祉のカタチづくりへ

宍粟市社協では、平成24年度から2年間にわたり「小地域福祉活動第1期モデル地区指定事業」に取り組みました。

支部ごとに開催した小地域福祉活動説明会では、指定を受けた6自治会から実践報告が行われ、各自治会の関係者が取り組みの成果を共有しました。

今月はその内容を紹介します。

7/4 田路伸吾(西深)代表福祉委員の実践発表

モデル地区からのコメント

●鶴木（山崎）

モデル地区を受けたことで、サロンが毎月開催でき、コミュニケーションの広がりと見守り活動が充実した。今後はさらに活動を充実させるため、福祉委員を増やしたい。

●宇原（山崎）

平成23年から各隣保に福祉委員を設置したことで、見守り活動などの福祉活動が充実した。今後も日常生活の中でみんなが支え合う地域福祉活動に取り組んでいきたい。

●西深（一宮）

住民アンケートの実施やふれあい喫茶に加え、新たにサロンに取り組んだ。高齢者宅訪問で関わりも深まり、身近な相談窓口の役割を果たしていきたい。

●福野（一宮）

ふれあい喫茶と地域行事を連携して皆が集う機会を工夫し、居酒屋喫茶を実施した。今後も喫茶などを通じ地域の絆を深め交流の場づくりを進めたい。

●原（波賀）

スローガンを掲げ福祉連絡会を5つの部会で構成し、見守り活動や訪問活動を実施した。それぞれの部会の役割は違っても同じ目的に向って活動していきたい。

●西河内（千種）

モデル地区を通じてサロンがスタートした。チラシの配布を福祉委員が行うようになり見守り活動が広がった。今後も継続していきたい。

福祉委員がサンタで「お・も・て・な・し」～西河内公民館～

第2期モデル地区へつなぐ

第1期モデル事業に取り組んだ各自治会からは、次のような共通した感想がありました。

●計画づくりや情報交換、活動内容を話し合うことで福祉連絡会が頻繁に開かれるようになった。

●福祉委員の役割が見えはじめ活動が活発になった。

●世代間交流会やサロンなど、集うための場づくりが地域のつながりづくりにつながった。

話し合うことにより様々なアイデアが生まれ、住民アンケートの実施や福祉委員の活動ジャンパー製作など、特徴的な取り組みもありました。

地域の実情や抱える課題は異なりますが、2年間の実践は地域の福祉力を高め、次年度の活動につながる力となっています。

宍粟市社協では、自治会域で福祉活動をさらに応援するため、今年度から第2期モデル地区指定事業を推進していきます。

（波賀支部　春名豊滋）

や まさき

いつもの道でも油断せず…

金谷ふれあいサロンで交通安全教室！

金谷自治会では、自治会の行事に合わせて、ふれあいサロン『やまのべ会』を開催しています。

毎回、自治会役員が持ち回りでリーダーを務めながら活動を運営しています。

6月7日（土）、この日は朝早からサルビア植えとクリーン作戦を行い作業が終わると、茶話会で一休み。

その後、兵庫県警本部と宍粟警察署交通課による交通安全教室が行われ74人が参加し、会場の金谷教育集会所は満員でした。

運転シミュレーターを使った模擬体験を見ていた子どもたちからは「あ！危ない、こわかったぁ」「道を渡るときは青でも気を付けなあかんな」など素直な感想がありました。

「いつもの道でも油断せず、みんなで気を付けて金谷から事故を出さない。出させないようにしたい」と、自治会長の下村孝吉さん。

サロンでは、地域の身近な課題を活動メニューに取り入れることも大切です。

これからも、リーダーさんを中心に住民にとって役立つ企画を考えてくださいね。

（山崎支部　森井裕矢）

お笑いのような掛け合いの寸劇で分かりやすく説明。
会場からは笑い声が絶えません（金谷教育集会所）

い ちのみや

“桑茶”で地域をもっと元気に！

草木自治会

草木自治会は、過疎化・高齢化が進み、現在では住民30人あまりの小さな集落となっています。

こうした状況を受け、自治会では、桑の葉を使ったお茶を生産し、住民総出で地域おこしをされています。

同地区は、かつて養蚕が盛んでしたが、地域状況の変化でその担い手がなくなり、桑の木が多く残っています。

桑茶作りは、このような地域状況を逆手に取った取組みです。

楽しみながらしています

桑茶の販売をする中で、取組みを応援して下さる大阪の方とのつながりができ、6月15日（日）、草木で交流会が行われました。

「桑茶作りのおかげで、いろんな人と出会えてうれしい」と地元の米田博幸（よねだひろゆき）さん。

桑茶作りは、葉を一枚一枚摘むところから袋詰めまで手作業のため、住民同士が顔を合わす機会が増え、ふれあいの場となっています。

草木の桑茶作りが、地域の活性化につながるよう社協も応援させていただきます。

（本部・一宮支部　三宅あゆみ）

草木住民と大阪から来られた皆さん。
桑畑をバックに！

読者の感想より
いきいきライフの保杉さんの「人の倍も喜べる」とってもすばらしい人生観ですね。
いつまでも色々な事に挑戦してみようと思いました。（山崎町　女性）

はが

みんなが集える場づくりを！
～身障協会波賀支部～

宍粟市身体障害者福祉協会波賀支部では、6月13日（金）に会員交流会を開催し、会員16人が参加しました。

今年は誰もが参加できるスポーツを検討し、カローリングが選ばれました。初めての方がほとんどでしたが「これやったら誰でもできるしおもしろいな」と好評でした。「とりあえず集まることが大切や。勝敗よりも楽しくできることがええな」と支部長の大前考史さん。

カローリングの後は会場をフォレストステーション波賀に移し、会食しながら交流を深めました。

波賀支部の会員数は約60人。行事等への全員参加は難しいかもしれませんが、集える場を多く設けることで顔が見えやすい活動へとつながっています。

つどい等への参加者が年々少なくなる中、役員の皆さんは、今後も制度などの勉強会や研修会を開催し、できるだけ多くの方の参加をよびかけるとの事です。

社協としてこれからも会員の声や思いに寄り添いながら、活動のお手伝いをしていきたいと思います。

（波賀支部　坂本幸子）

「これに当ててくれたらええな!」（メイプル福祉センターにて）

ちくさ

被災地への思いを込めて
老人クラブ女性部がうちわ作り

6月27日（金）、宍粟市老人クラブ連合会から東日本大震災被災地へ〝元気うちわ〟が届けられました。

これは、のじぎくクラブ兵庫（県老連）が、被災地のみなさんに夏を涼しく過ごしてもらおうと、市町老連に呼びかけたものです。

昨年の波賀支部に続いて、今年度は、千種支部老連女性部が、6月4日（水）千種保健福祉センターにて、メッセージを添えたうちわ作りに取り組みました。

「何十年も絵なんか描いてないで」「下手やけど私らの思いが伝わったらええな」「今日は、ええ一日やった」などと、皆さん思い思いに絵筆を走らせ25本が完成しました。

あの震災から4回目の夏を迎える被災地の方へ、うちわとともに女性部のみなさんの思いもきっと届くでしょう。

遠く離れた宍粟から、私たちにも応援できること、まだまだあります。

（千種支部　小原志のぶ）

「私たち10人から、涼しい風をおくります」
（千種保健福祉センター）

読者の感想より　いつまでも健康でボランティアを続けたいです。私も笑いヨガに興味がでました。（波賀町　女性）

やまさきボランティアフェスタ

8/31(日)
午前10時30分～
雨天決行

城下町姫路の姫っ娘5がやってくる!

第9回やまさきボランティアフェスタを開催します。

ボランティアグループや作業所のPR、家族みんなで楽しめるコーナーなど盛りだくさんです。

ご家族・お友達などお誘いあわせのうえお越しください。

日時　8月31日(日)午前10時30分～午後2時30分
会場　宍粟防災センター
内容　ボランティアグループ・作業所展示販売
食べ物コーナー・遊びコーナー
姫っ娘5によるステージ
お問合せ　山崎支部　☎62−5530

ボランティア活動紹介

お達者クラブでお手伝い!

波賀支部のお達者クラブでは、お茶出しや話し相手、ゲームのお手伝いにボランティアが活躍しています。

お達者クラブ開設当初にボランティア募集をしたところ、民生委員児童委員OBの皆さんをはじめ、輪が広がり現在10人が活動しています。

ゆったり話を聞いたり、ゲームに一緒に参加したり、ご利用者の皆さんもとてもにこやかに過ごされています。

※お達者クラブとは「通所型介護予防事業」のこと。
各支部で実施しています。
※社協では各支部でもお達者クラブのお手伝いボランティアを募集しています。　お問合せ　各支部

(波賀支部　坂本幸子)

ボランティアセンター日誌

地域へ出動!ボランティアの日

6月は『善意推進月間』。千種ボランティア連絡会と一宮ボランティア連絡協議会が地域に出向いて奉仕作業を行いました。

千種 6月7日(土)
町内美化活動

集めたごみは軽トラック1台分、ずいぶん減ってきました

今年で9回目の取組みにボランティア100人余りが集まりました。

意欲的なボランティアさんとともに、さわやかな汗をかきました。

一宮 6月11日(水)
はりま自立の家奉仕作業

ボランティアのみなさん
今日はありがとう

ボランティア60人が集まり施設内の窓拭きや部屋の清掃、花壇の手入れを行いました。作業の合間には利用者さんとふれあう場面もあり、みなさんからたくさん「ありがとう」の言葉をいただきました。

会員同士が交流を深めました♪

千種ボランティア連絡会と波賀ボランティア連絡会が、ボランティア同士の交流と情報交換の場として交流会を行いました。

千種 6月7日(土)
クリンソウを鑑賞

美しいクリンソウと森林浴も楽しめました

今年初めての交流会を開催。35人がクリンソウを鑑賞しながら散策しました。普段出会わない他のグループの皆さんとおしゃべりの花を咲かせました。

波賀 6月25日(水)
グラウンドゴルフで交流

「兄さん、ええ帽子やなあ!」

緑あふれるフォレストステーション波賀にてグラウンドゴルフや食事会で会員同士の交流を深めました。45人がつどい、にぎやかな声が山に響きました。